

4 局区ごとの「未来まちづくり推進枠」予算要求の内容

平成23年度予算 未来まちづくり推進枠予算要求一覧

(単位：千円)

| 環境政策局 予算要求の内容 | | | |
|---|---|--------|----------------------------|
| 事業名 | 事業概要 | 要求額 | 所管課 電話番号 |
| 「DO YOU KYOTO? クレジット(仮称)」を活用した地域や中小事業者の排出削減促進事業 | 地域団体や中小事業者等による温室効果ガス排出削減を促進するため、排出削減量をクレジットとして「見える化」する仕組みづくりを行う。 国制度活用に加え、参加しやすい京都独自クレジット制度(「DO YOU KYOTO? クレジット(仮称)」)を構築するとともに、削減量をクレジット化し、これに応じた助成を行う。 | 14,200 | 地球温暖化対策室 222-4555 |
| 事業者排出量削減計画制度の拡充 | 地球温暖化対策条例の改正に基づく新たな事業者排出量削減計画書・報告書制度を円滑かつ効率的に運用するため、ガイドラインの作成、説明会、個別相談等の実施により計画書作成を支援する。 さらに、計画書が低評価となった特定事業者に対して、専門的な診断・指導助言等を実施し、確実な排出削減を促進する。 | 8,100 | 地球温暖化対策室 222-4555 |
| 低炭素のモデル地区「エコ学区」事業 | 低炭素社会実現に向けた、先進的な取組を実践する学区を選定し、積極的な省エネの推進や環境学習などを総合的に実施するとともに、学区独自の取組や提案を支援することにより、地域ぐるみでのライフスタイルの転換や地域力の向上を図る。 | 9,100 | 地球温暖化対策室 222-4555 |
| KYOTO環境知恵産業ブランド化推進事業 | 本市における低炭素社会を先導する産業の実態を把握するための調査を実施するとともに、環境知恵産業の育成・振興を図るために、環境にやさしい製品・サービスのブランド化とマーケティングを支援する。あわせて、中小事業者の環境分野への新規参入促進や新事業創出に向けた効果的な支援策を検討する。 | 8,000 | 地球温暖化対策室 222-4555 |
| 「環境未来都市・京都」実現！プロジェクト | 平成22年6月に閣議決定された「新成長戦略」において、「環境モデル都市」等から厳選された戦略的都市・地域である「環境未来都市」が平成23年度に新たに創設されることになった。 低炭素社会実現に向け、「環境未来都市」の指定を目指して、本市の取組を政府に効果的にアピールする。 | 4,200 | 地球温暖化対策室 222-4555 |
| スマート京都プロジェクト～エネルギーを賢く徹底活用しよう！～ | 「環境未来都市」構想において、スマートグリッド、再生可能エネルギー、次世代自動車等を組み合わせた都市のエネルギーマネジメントシステムの構築やスマートコミュニティの構築が求められている。 「環境未来都市」を目指す本市にとって、エネルギーを賢く徹底活用するスマートコミュニティを構築することは必須であり、その実現に向けた調査研究を行う。 | 5,000 | 地球温暖化対策室 222-4555 |
| 次世代自動車普及促進事業(EVラリー(仮称)) | 環境性能の高い市販の電気自動車を利用したラリーを府市協調事業として開催し、多くの市民・観光客にEVの普及と環境問題の啓発を行う。 | 2,900 | 環境企画部 環境管理課 213-0930 |
| 環境政策局 合計 | | 51,500 | |

平成23年度予算 未来まちづくり推進枠予算要求一覧

(単位：千円)

| 行 財 政 局 予 算 要 求 の 内 容 | | | |
|-----------------------|--|---------|---|
| 事 業 名 | 事 業 概 要 | 要 求 額 | 所 管 課 電 話 番 号 |
| 市役所本庁舎整備 | 市役所本庁舎の整備に向け、最適な耐震補強方法の検討を行うための構造躯体の強度や劣化度の構造調査，耐震診断等，必要な調査を行う。 | 26,500 | 総務部 総務課 222-3046 |
| 芸術大学整備・改革の推進 | 京都市立芸術大学の平成24年度公立大学法人制度導入に向け，人事給与システムや財務会計システムの構築，芸術大学の有する資産の評価など準備作業を進める。 | 68,468 | 芸術大学 整備改革推進課 334-2400 |
| 地籍調査事業 | 国土調査法に基づく国土調査の一つである地籍調査事業を実施し，土地の最も基礎的な情報である地籍や土地境界の明確化を図る。平成23年度については，上京区出水区において，平成22年度に国が実施する「都市部官民境界基本調査」（地籍調査の支援メニューの一つ）に引き続き地籍調査に着手し，道路や水路等の官有地の境界確認作業を進めていく。 | 15,773 | 財政部 財産活用促進課 222-3281 |
| 鉱泉源の保護管理 | 平成23年度の入湯税導入に伴い，温泉施設の維持発展を図るとともに，京都観光の振興を図るため，鉱泉源の保護管理費に対する補助制度を創設する。 | 2,000 | 税務部 税制課 213-5200 実施局は 調整中 |
| 行 財 政 局 合 計 | | 112,741 | |

平成23年度予算 未来まちづくり推進枠予算要求一覧

(単位：千円)

| 総合企画局 予算要求の内容 | | | |
|---|--|--------|---|
| 事業名 | 事業概要 | 要求額 | 所管課 電話番号 |
| 「はばたけ未来へ！京プラン」(京都市基本計画)の発信と新たな実施計画の策定 | 平成23年度から10年間を計画期間とする「はばたけ未来へ！京プラン」(京都市基本計画)の着実な推進に向け、計画内容を広く市民や事業者等に発信するとともに、具体的な取組内容やスケジュール等を明示した5年程度を計画期間とする新たな実施計画を策定する。 | 19,400 | 政策企画室 222 - 3035 行財政局 財政部財政課 222-3293 |
| 未来の京都創造研究事業(仮称) | 京都に集積する大学と京都市が協働し、未来の京都づくりに向けた政策を立案するための調査・研究を実施するとともに、若手をはじめとした市政を支える研究者等の発掘、育成とネットワークの形成を図る。 | 17,000 | 政策企画室 222 - 3035 |
| 岡崎地域活性化推進事業 | 平成22年度策定予定の岡崎地域活性化ビジョンを推進するため、施設間連携の強化や魅力創出事業の企画・調整・推進を担うエリアマネジメント組織を設立し、夜の賑わいの創出や魅力情報を総合的に発信する新たな取組を行う。リーディング事業として、夜間のイルミネーション・ライトアップ事業や散策マップの発行等に取り組む。 | 30,000 | 市民協働 政策推進室 222 - 4178 |
| 京都・ザグレブ姉妹都市提携30周年及び京都・キエフ姉妹都市提携40周年記念事業 | ザグレブ(クロアチア)との姉妹都市提携30周年及びキエフ(ウクライナ)との姉妹都市提携40周年を記念して、両市との市民交流を図るため、京都においてザグレブ、キエフを身近に感じてもらうイベントを実施するとともに、ザグレブ、キエフに代表団を派遣し、市民文化団体等による交流事業を実施する。 | 10,000 | 国際化推進室 222 - 3072 |
| 総合企画局 合計 | | 76,400 | |

平成23年度予算 未来まちづくり推進枠予算要求一覧

(単位：千円)

| 文化市民局予算要求の内容 | | | |
|--|--|---------|--|
| 事業名 | 事業概要 | 要求額 | 所管課 電話番号 |
| ドメスティックバイオレンス(DV)相談支援センターの運営及び被害者支援事業 | DV被害者が真に自立できるよう、相談や各種情報提供、安全確保のための保護命令申立てに関する支援、その他長期にわたる自立支援など、切れ目のない継続的な支援を行うドメスティックバイオレンス(DV)相談支援センター(仮称)を設置するとともに、休日・夜間等における緊急の電話対応を行うホットラインを付設する。 また、生活資金支援事業や民間インストラクター養成事業など、被害者支援事業を実施する。 | 47,100 | 共同参画社会 推進部男女共 同参画推進課 222 - 3091 |
| ワーク・ライフ・バランス推進事業 | 男女が共に安心して働き続けられる環境づくりのため、「女性の能力の積極的な活用」や「仕事と家庭生活との両立支援」などに取り組む企業や団体の取組をPRしてきた「事業者登録制度」等を平成23年度では更に発展させ、同制度への参加を促す「出前講座」と若い世代にワーク・ライフ・バランスに取り組む企業の情報を伝える場を設け、ワーク・ライフ・バランスの浸透が社会にとって有益となることを共感し合うことを目指す。 | 2,100 | 共同参画社会 推進部男女共 同参画推進課 222 - 3091 |
| 上京区総合庁舎整備 | 現上京区庁舎は、昭和13年の竣工から72年が経過し、老朽化や狭隘化が著しく、バリアフリー化の面でも課題がある。また、保健部が別庁舎となっており、総合庁舎の早急な整備が必要となっている。 平成23年度は、総合庁舎の整備手法を検討したうえで、事業者を選定するとともに、整備用地を取得する。また、現地建替えであるため、仮庁舎整備工事及び現庁舎解体設計についても併せて行う。 | 193,700 | 市民生活部 区政推進課 222 - 3048 |
| ワンストップサービス実施に係る調査 | 「京都未来まちづくりプラン」において民間企業並みの窓口サービス提供の推進が掲げられており、京都市に適したワンストップサービスについて、窓口が連携して一度に申請を受け付けるIT活用受付システムなど、他都市の先行事例も参考に、早期の導入に向けた調査・検討を行う。 | 2,700 | 市民生活部 区政推進課 222 - 3048 |
| 戸籍事務電算化 | 現在、手作業で行っている戸籍事務を電算化することにより、戸籍届出から戸籍記載までの一連の事務処理を効率的かつより正確に行うとともに、各区役所・支所等をオンラインで結合し、戸籍証明書の広域交付を可能とすることにより、市民サービスの向上を図る。 | 92,500 | 市民生活部 区政推進課 222 - 3048 |
| 地域コミュニティ活性化策の推進 | 現在、早期の制定に向けて検討中である「地域コミュニティ活性化条例(仮称)」の周知及び推進するための具体的な方策を実施するとともに、条例の推進計画の策定及び具体策の実施状況の管理等を行う組織を設置し、実効性のある施策実施を図る。 | 14,700 | 市民生活部地 域づくり推進 課 222 - 3049 |
| 路上喫煙等禁止区域の拡大 | 「路上喫煙等禁止区域の拡大」を実現するため、京都市路上喫煙等対策審議会での審議を経て、市内中心部への拡大(平成22年7月実施済み)及び観光地への拡大(平成23年度(予定))を実施する。 | 22,700 | 市民生活部地 域づくり推進 課 222 - 3049 |
| 次期各区基本計画推進事業(区民との共汗による計画の推進) | 次期各区基本計画を、各区の実情に応じ、創意工夫を凝らしながら、区民との共汗で推進することにより、区民との協働によるまちづくりを目指す。 | 11,000 | 市民生活部地 域づくり推進 課 222 - 3049 |
| 第2次「京都市生活安全(防犯・事故防止)基本計画」(仮称)に基づく生活安全施策の推進 | 次期計画では、自らを守る意識の高揚、連携ネットワークの確立、区が共汗でバックアップ、の3点を「基本的な考え方」として設定することとしており、こうした考え方を踏まえ、「だれもが安心してくらするまち」の実現を目指す。 | 9,600 | 市民生活部地 域づくり推進 課 222 - 3049 |
| 犯罪被害者等支援策の推進 | 平成22年度に制定予定である「犯罪被害者等支援条例(仮称)」の周知及び推進するための具体的な支援策を実施し、社会全体で犯罪被害者等を支え、共に将来に目を向けて歩いていける社会の構築を目指す。 | 21,600 | 市民生活部地 域づくり推進 課 222 - 3049 |
| 自転車の安全利用の促進 | 自転車利用マナー、ルール等について周知を徹底するとともに、自転車の整備点検や損害保険加入促進等についての取組を推進する。 | 3,100 | 市民生活部地 域づくり推進 課 222 - 3049 |

(単位：千円)

| 文化市民局予算要求の内容 | | | |
|-------------------------|---|-----------|-------------------------------|
| 事業名 | 事業概要 | 要求額 | 所管課 電話番号 |
| 若手芸術家等の居住・制作・発表の場づくり | 既存の町家や倉庫、公的住宅等の活用による居住・制作の場づくりや、公共空間等を活用した発表の場づくりなど、若手芸術家等の京都における居住・制作・発表を促進する。 | 10,000 | 文化芸術都市推進室文化芸術企画課 366-0033 |
| 京都会館再整備事業 | 岡崎地域のシンボル「文化の殿堂」として存在する京都会館の再整備に取り組む。 平成23年度については、基本設計等を実施し、平成24年度以降については、実施設計を行い整備を進めていく。 | 94,700 | 文化芸術都市推進室文化芸術企画課 366-0033 |
| 映画都市・京都の推進 | 平成9年度から開催している「京都映画祭」や平成21年度に設置した「京都映画文化会議」及び「京都市フィルム・オフィス」等の成果を踏まえ、学識経験者等を交え調査検討を行い、映画都市・京都における今後の映画振興を推進する。 | 3,000 | 文化芸術都市推進室文化芸術企画課 366-0033 |
| 新「京都市動物園構想」の推進 | 平成21年度に策定した共汗でつくる新「京都市動物園構想」に基づき、「いのちにふれる憩いの場」、「種の保存等自然保護への貢献」、「環境教育」、「研究」という使命を果たすことのできる環境づくりや環境配慮型の施設等へ整備を行う。 また、施設整備の基本方針として、開園しながらゾーンごとに順次整備を行うこととし、安全面で課題のある施設や老朽化が進んだ施設の整備を優先して進める。 平成23年度は、「ネコワールド」、「アフリカの草原」等の整備を行う。 | 687,000 | 動物園 771-0210 |
| 世界遺産・二条城本格修理事業 | 平成18年度に実施した耐震診断において、二の丸御殿(国宝)・東大手門(重要文化財)などの文化財建造物が大地震で損傷する恐れがあると判定されたため、平成19～22年度の4年間でより詳細な調査に基づく修理方針を策定中である。 平成23年度については、二の丸御殿の唐門及び築地に係る修理工事を行う。 | 30,000 | 元離宮二条城事務所 841-0096 |
| 世界遺産・二条城計画的整備事業 | 文化財の保護と共に、日本有数の観光都市にふさわしい文化施設としての機能を維持するため、5箇年計画に基づき整備等を行う。 | 50,000 | 元離宮二条城事務所 841-0096 |
| 特別天然記念物オオサンショウウオの緊急生息調査 | 近年、鴨川水系に生息する国の特別天然記念物であるオオサンショウウオと、中国産のオオサンショウウオの交雑が進んでいることから、オオサンショウウオの生息調査を実施し、日本固有種の保護に努める。 | 3,200 | 文化芸術都市推進室文化財保護課 761-7799 |
| 第26回国民文化祭・京都2011 | 全国の文化団体等が競演・交流する国内最大の文化祭典である「国民文化祭」が、平成23年には京都府内各地で開催されることとなっており、京都市においては、以下13の事業を開催する。 会期：平成23年10月29日(土)から11月6日(日)までの9日間 京都市で実施する13事業： 合唱の祭典、吹奏楽の祭典、ジュニアオーケストラの祭典、 全国吟詠剣詩舞道祭、日本舞踊の祭典、邦楽の祭典、 能楽の祭典、連句の祭典、美術展(日本画・洋画・書・彫刻)、 京の暮らしの文化展、はじめてのお茶とお香、京のいけばな展、 マンガアートフェスティバル | 424,500 | 文化芸術都市推進室国民文化祭推進課 366-1495 |
| 京都市体育館改修 | 京都のスポーツの聖地「西京極」の中心施設の一つとして、生涯スポーツから、各種の国際的・全国的規模の競技大会まで幅広く開催されている京都市体育館について、競技者・観戦者・運営者それぞれの観点からより使いやすい施設となるよう、耐震補強工事と併せて大規模改修工事を実施する。 平成23年度は、基本計画等を実施する。 | 24,000 | 市民スポーツ振興室スポーツ企画課 366-0168 |
| 下鳥羽公園球技場人工芝張替え | 日本サッカー協会人工芝公認施設である下鳥羽公園球技場について、人工芝の磨耗が急速に進んでいるため、同協会の公認更新に併せて、全面張替えを行う。 | 100,000 | 市民スポーツ振興室スポーツ企画課 366-0168 |
| 京都マラソン | マラソンを総合スポーツイベントとして実施し、ランナーやボランティア、市民が一体となって京都全体を盛り上げ、市民スポーツの振興はもとより都市ブランドの更なる向上や高い経済効果の見込める「京都マラソン」を開催する。 | 100,000 | 市民スポーツ振興室スポーツ振興課 366-0169 |
| 文化市民局 合計 | | 1,947,200 | |

平成23年度予算 未来まちづくり推進枠予算要求一覧

(単位：千円)

| 産 業 観 光 局 予 算 要 求 の 内 容 | | | |
|-------------------------------------|--|--------|--------------------------|
| 事 業 名 | 事 業 概 要 | 要 求 額 | 所 管 課 電 話 番 号 |
| 京都市産業連関表の作成 | 経済効果や産業分野間の効率的な投資配分を踏まえた産業政策の企画立案等に活用するため、経済活動の実態を詳細に記述した国の基幹統計である産業連関表に準じた京都市産業連関表(平成23年表)の作成手法を検討する。併せて、京都市の産業構造の特性を反映した経済波及効果の推計手法について研究する。 | 10,300 | 商工部 産業政策課 222-3325 |
| ソーシャルビジネス支援事業 | 社会的な課題解決の担い手として注目されている「ソーシャルビジネス」の認知度の向上や活動の活性化を図るため、調査研究、フォーラム、創業セミナーを実施する。 | 9,000 | 商工部 商業振興課 222-3340 |
| 商店街街路灯LED化推進事業 | 商店街街路灯について、消費電力が少なく温室効果ガスの削減につながるLED電球への転換を促進するための助成制度を創設する。 | 20,213 | 商工部 商業振興課 222-3340 |
| 京都発革新的医療技術研究開発助成 | 医学・工学・薬学の融合分野における産学公連携支援活動を促進するため、新たな医療機器や医薬品の開発につながる革新的な医療技術に関する研究に対して助成する。 | 37,000 | 産業振興室 222-3324 |
| 中小企業低炭素型ものづくり設備投資促進特別対策 | 新エネルギーの活用や省エネルギー化につながる市内中小企業の設備等導入経費に対して助成することにより、温室効果ガスの削減及び効率的な生産活動による経営基盤の強化や事業の拡大を図る。 | 20,000 | 産業振興室 222-3324 |
| 中小企業設備投資・新規雇用等特別対策 | 産業基盤の維持を図るとともに、中小企業における人材確保を支援するため、既存工場における機器更新等の設備投資及び新規成長分野関連業種の企業が行う新規雇用に対して助成する。 | 債務負担 | 産業振興室 222-3324 |
| 中小企業国際化支援事業 | 中小企業の海外進出等を支援するため、京都高度技術研究所、京都大学、京都リサーチパーク(株)による産学公が連携し、「次世代多言語支援テレビ会議システム」を活用した、海外進出先との双方向の交流を誘発する空間(ナレッジサロン)を整備する。 | 36,000 | 産業振興室 222-3324 |
| 大学発技術シーズの活用支援事業 【知恵産業推進事業】 | 大学が保有している技術シーズ(研究により開発された技術の種)のうち、活用可能性が高いものを選定し、分かりやすく整理することにより、市内中小企業への技術移転を図り、新商品・新技術の開発に結び付ける。 | 3,111 | 産業振興室 222-3324 |
| マンガミュージアム新展開事業(仮称) 【知恵産業推進事業】 | ファッション・デザインとのコラボレーションにより、マンガのコンテンツを活用したリアルクローズ(現実に着られる服)を創作し、新ビジネスの創出と市内繊維産業の活性化を図る。 | 12,000 | 産業振興室 222-3324 |
| 中小企業ものづくり技術者マッチング支援事業 【知恵産業推進事業】 | 大企業や中核企業のOB熟練技能者を中小企業が再雇用する取組を支援し、市内中小企業が有する優れたものづくり基盤技術や国際競争力を一層高めるとともに、国内技術の海外流出を抑制する。 | 35,000 | 産業振興室 222-3324 |

(単位：千円)

| 産業観光局予算要求の内容 | | | |
|-------------------------------------|---|--------|----------------------------|
| 事業名 | 事業概要 | 要求額 | 所管課 電話番号 |
| 知恵産業融合センター推進事業 【知恵産業推進事業】 | 伝統産業と先端産業を融合し、新たな「京都ブランド」の創出を図るため、京都市産業技術研究所とかかわりのある中小企業が有する技術力等を紹介するシステムを構築するとともに、商品化の可能性調査を実施する。 | 31,000 | 産業技術研究所 326-6100 |
| 京都市中央卸売市場第二市場マスタープランに基づく施設改築等基本計画業務 | 第二市場の大規模改築の実施に向け、施設の配置や規模等に関する基本計画を策定するとともに、効率的な運営体制を確立するための取組を推進する。 | 27,300 | 中央卸売市場 第二市場 681-5791 |
| 観光案内標識アップグレード推進事業 | 「歩く観光」を推進するため、平成22年度中に策定予定の観光案内標識ガイドラインに基づき、平成23年度から平成27年度までの5箇年計画により、観光客・市民の視点に立った一層分かりやすい観光案内標識の整備を進める。 | 35,000 | 観光部 観光企画課 222-4130 |
| 梅小路公園を拠点とする新たな観光エリアの創出 | 平成24年に開業予定の水族館を含む梅小路公園周辺の観光資源にスポットをあて、エリアマップの作成、観光案内標識の整備などを進め、梅小路周辺を丸ごと楽しめる新たな観光エリアを創出する。 | 17,000 | 観光部 観光企画課 222-4130 |
| 連泊促進プロモーション事業 | 「暮らすように旅するプロジェクト」(滞在・宿泊型観光)を推進するため、連泊を喚起する京都ならではの奥深い体験等を組み合わせたメニューを開発するとともに、交通事業者等の観光関連団体との連携により、京都での滞在・宿泊の促進につながる効果的なプロモーション活動を行う。 | 15,000 | 観光部 観光振興課 222-4133 |
| 京都ユニバーサルツーリズムコンシェルジュの開設 | 高齢者や障害のある方をはじめ、すべての方々に安全・快適な京都観光を楽しむていただくため、ユニバーサルツーリズムに関する案内機能を構築するとともに、モデルコースやトイレ等のバリアフリー情報の充実を図る。 | 10,000 | 観光部 観光振興課 222-4133 |
| ITを活用した口コミによるプロモーション | 世界的に普及しているSNS()の一つであるフェイスブックやツイッターの利用者による口コミの活用により、京都の魅力をもPRし、海外からの観光客誘致を促進する。 SNSとは：ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略であり、社会的ネットワークをインターネット上で構築するサービスのことをいう。 | 3,000 | 観光部 観光振興課 222-4133 |
| MICEプロモーション・開催支援 | 京都市MICE戦略に基づき、ミーティング(例：グループ企業の役員会議)及びインセンティブトラベル(例：企業報奨・研修旅行)の誘致を推進するため、中国・台湾・香港・アメリカ等の旅行会社、ミーティングプランナー等の海外MICE関係者に対して、宣伝活動や情報発信等を行うとともに、京都ならではの魅力を活用した会議開催支援の仕組みを構築する。 | 15,000 | 観光部 観光振興課 222-4133 |
| NHK大河ドラマ「平清盛」PR事業 | 平成24年1月から放映予定のNHK大河ドラマ「平清盛」に登場する京都にゆかりのある史跡、名勝などを広く国内外に発信するため、観光関連業界等において「平清盛」をテーマとした商品造成、販売促進や記事掲載等に活用できるフォトCD、散策マップ等を作成するとともに、各種イベントを実施する。 | 10,000 | 観光部 観光振興課 222-4133 |
| 観光立国・日本京都プロジェクト | 観光立国政策を強力に推し進めるため、観光庁との連携を強化し、それぞれが持つノウハウ、ネットワーク等を融合することにより、観光立国の実現に向けた共同事業(ラグジュアリー層の誘致、外国人観光客受入環境の充実等)に取り組む。 | 20,000 | 観光部 観光振興課 222-4133 |

(単位：千円)

| 産 業 観 光 局 予 算 要 求 の 内 容 | | | |
|--|---|---------|------------------------------|
| 事 業 名 | 事 業 概 要 | 要 求 額 | 所 管 課 電 話 番 号 |
| 農業振興対策事業 (パイプハウス及び ペレットヒーター導 入整備) | 新京野菜(京唐菜,京ラフラン)等の効率的かつ安定的な生産に必要なパイプハウスの設置に加え,環境にやさしい森林エネルギーを用いた木質ペレットヒーターを導入することにより,生産量の拡大を図るなど,京北地域における農業の振興に取り組む。 | 12,000 | 農林振興室 農業振興整備課 222-3352 |
| 農業用水路に治水機能 を付加した雨に強い まちづくり推進事 業 | 市民生活の安心安全を確保する観点から,農業用水路に治水機能を付加するため,水路の浚渫・草刈り,修繕等を計画的に実施する。 | 30,000 | 農林振興室 農業振興整備課 222-3352 |
| 四季・彩りの森復活 プロジェクト | ナラ枯れ被害を受けた市街地周辺三山を,災害に強く,四季の彩りを感じさせる森林へと再生するため,土地所有者や植生現況の調査を実施するとともに,市民との協働による森林資源の持続的活用方法等を検討し,歴史都市・環境モデル都市として魅力ある都市環境の保全に寄与する。 | 25,000 | 農林振興室 林業振興課 222-3346 |
| 木質資源利用推進事 業 | 間伐材を原料とする木質ペレットの利用を拡大し,森林の健全化を図り,温室効果ガス削減の取組を推進するため,原料用間伐材の供給に対する助成制度を創設する。 | 5,000 | 農林振興室 林業振興課 222-3346 |
| 産 業 観 光 局 合 計 | | 437,924 | |

平成23年度予算 新規事業予算要求一覧

(単位：千円)

| 保健福祉局予算要求の内容 | | | |
|----------------------------|---|---------|---------------------|
| 事業名 | 事業概要 | 要求額 | 所管課 電話番号 |
| 障害者雇用促進アドバイザー派遣等支援事業 | 障害者雇用に関心・意欲があり、具体的に障害者雇用を進めようとしている事業者に対して、「障害者雇用促進アドバイザー」の派遣や備品購入支援等の雇用創出に向けた取組支援を行うことにより、障害のある市民の職域の拡大を図る。 | 10,000 | 障害保健福祉課 222-4161 |
| 軽度・中等度難聴児に対する補聴器購入費助成事業 | 身体障害者手帳に該当しない軽度・中等度難聴児に対して補聴器の購入費用を助成することにより、軽度・中等度難聴児の教育、言語訓練及び生活適応訓練の促進に寄与することを目的とする。 | 2,200 | 障害保健福祉課 222-4161 |
| 社会福祉施設耐震化等整備助成事業 | 火災発生や地震発生時に自力で避難することが困難な方々が多く入所する社会福祉施設の安全・安心を確保するため、社会福祉施設の耐震化及びスプリンクラー整備を促進する。 | 29,600 | 障害保健福祉課 222-4161 |
| 生活保護就労支援対策の充実と他法他施策活用徹底 | 生活保護受給者に対し、就労支援並びに年金受給に係る資格確認及び年金裁定請求の支援の充実を図るため、平成22年度から導入した以下の事業について、体制を拡充して実施する。 生活保護就労意欲喚起等支援事業 年金検討員派遣事業 | 109,500 | 地域福祉課 251-1175 |
| ホームレス自立支援施策充実事業 | ホームレスに対する自立支援施策を拡充するため、無料低額宿泊施設入所者の居宅生活等への移行を促進するとともに、自立に向けた訓練的な職種の開拓、情報収集及び情報提供等により就業機会の確保を図る。 | 12,900 | 地域福祉課 251-1175 |
| 地域・多文化交流ネットワーク促進事業 | 平成23年度に竣工予定の地域施設において、多文化交流のネットワークを形成する各種事業を行う。 | 24,100 | 地域福祉課 251-1175 |
| 国民健康保険事業特別会計繰出金の増額 | 国民健康保険事業の安定的な運営と被保険者の負担軽減のため、国民健康保険事業特別会計の収支状況を踏まえ、一般会計からの繰出金を増額する。 | 算定中 | 保険年金課 213-5861 |
| 放課後ほっと広場事業の充実 | 一元化児童館130館整備により地域児童が利用できる範囲に概ね児童館が設置されているが、一部、一元化児童館及び学童保育所が整備されていない小学校区においては、放課後まなび教室と学童クラブ事業を融合した放課後ほっと広場を22年度より4箇所で開催している。23年度については、新たに4箇所での実施に取り組む。 | 21,300 | 児童家庭課 251-2380 |
| 子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場）の充実 | 特定非営利活動法人等の市民団体やボランティア等と連携・協力し、主に乳幼児を持つ親とその子どもが気軽に集い、交流を図るとともに、育児相談などを行い、地域の子育て活動を支援する子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場）を新たに3箇所で開催する。 | 5,700 | 児童家庭課 251-2380 |
| 里親支援事業 | 社会的養育が必要な子どもを家庭的環境で養育する里親制度の認知度及び委託率の向上並びに里親の専門性向上を目的として、里親制度のPR活動及び里親（養育里親・専門里親）のための研修の実施、専門員の配置による里親委託の推進、里親への訪問支援や相互交流等の取組を行う。 | 8,400 | 児童家庭課 251-2380 |

| 保健福祉局予算要求の内容 | | | |
|------------------------------|---|---------|-------------------|
| 事業名 | 事業概要 | 要求額 | 所管課 電話番号 |
| 一元化児童館整備事業 | 学校施設等を活用し、一元化児童館（学童クラブ機能を有する児童館）の整備を行う。 | 106,000 | 児童家庭課 251-2380 |
| 保育所整備事業 | 京都市未来子どもプランにおいて「保育所待機児童の解消」を目標に掲げ、保育需要の増加が見込まれる地域において、保育所の新設及び分園の設置や既存保育所の増改築を行い、保育所定員及び入所児童数の拡大を図る。 また、保育所老朽化及び耐震化対策として、昭和50年代以前に建設された保育所の老朽化が進んでおり、早急な対策を図る。 | 406,600 | 児童家庭課 251-2380 |
| 第2児童福祉センター（仮称）整備事業 | 児童虐待、障害相談に迅速かつ的確に対応するため、児童相談所及び診療所等の機能を備えた児童福祉の拠点となる「第2児童福祉センター（仮称）」を設置する。 | 214,000 | 児童家庭課 251-2380 |
| 病児保育（病後児併設型）事業 | 保護者が就労している場合等で、子どもが病気の際に自宅での保育が困難な場合の医療機関による病児保育事業を、同時に病気回復期にある病後児も受け入れられる体制を備えた病後児併設型として新たに実施する。 | 4,500 | 保育課 251-2390 |
| 延長保育事業の拡充 | 勤務時間の長時間化に伴う延長保育へのニーズの高まりに対応するため、新たに3箇所を実施する。 【民営保育園で実施】 | 10,200 | 保育課 251-2390 |
| 一時保育事業の拡充 | 就労形態の多様化等に伴う一時保育ニーズに対応するため、新たに2箇所を実施する。 【民営保育園で実施】 | 5,100 | 保育課 251-2390 |
| 休日保育事業の拡充 | 保護者の就労等に伴う日曜・祝日等の保育需要に対応するため、新たに1箇所を実施する。 【民営保育園で実施】 | 1,700 | 保育課 251-2390 |
| 昼間里親制度と家庭的保育事業の融合による待機児童解消事業 | 昼間里親制度に家庭的保育事業（「保育ママ」）の国補助金を取り込むとともに、保育所待機児童解消のために受入枠を2箇所を合計10名程度拡大する。 | 21,000 | 保育課 251-2390 |
| 地域密着型特別養護老人ホーム整備助成事業 | 「第4期京都市民長寿すこやかプラン」に基づく介護基盤整備事業として、地域密着型特別養護老人ホーム4箇所の新規整備に対し、助成を行う。 | 625,600 | 長寿福祉課 251-1106 |
| 小規模ケアハウス整備助成事業 | 「第4期京都市民長寿すこやかプラン」に基づく介護基盤整備事業として、小規模ケアハウス1箇所の新規整備に対し、助成を行う。 | 82,000 | 長寿福祉課 251-1106 |
| 認知症高齢者グループホーム整備助成事業 | 「第4期京都市民長寿すこやかプラン」に基づく介護基盤整備事業として、認知症高齢者グループホームの新規整備1箇所、新規開設2箇所に対し、助成を行う。 | 69,500 | 長寿福祉課 251-1106 |

| 保健福祉局 予算要求の内容 | | | |
|-------------------------------|--|-----------|-------------------|
| 事業名 | 事業概要 | 要求額 | 所管課 電話番号 |
| 介護老人保健施設増築整備助成事業 | 「第4期京都市民長寿すこやかプラン」に基づく介護基盤整備事業として、介護老人保健施設1箇所の増築整備に対し、助成を行う。 | 46,800 | 長寿福祉課 251-1106 |
| 認知症高齢者グループホームスプリンクラー設備等整備助成事業 | 消防法改正に伴い、新たにスプリンクラー設備等の設置が義務付けられた既存の認知症高齢者グループホームについて、スプリンクラー設備等の整備に要する経費の一部の助成を行う。 なお、義務化されていない275㎡未満の施設のうち希望する施設においても、助成を行う。 | 19,000 | 長寿福祉課 251-1106 |
| 妊娠期からの子育て支援事業 | 妊娠中に、専門職等による母子健康手帳交付時の面接や家庭訪問を行い、妊婦の不安の解消を図り、必要な支援策につなぐことにより、妊娠から出産、育児期まで切れ目のない支援を行う。 また、妊娠中から子育てを学べるプレパパママ教室について、父親も参加しやすくなるよう、休日に地域のコミュニティスペース等で開催する。 | 37,700 | 保健医療課 222-3411 |
| 働く世代への大腸がん検診推進事業 | 40～60歳までの5歳刻みの年齢の方に対し、大腸がん検査キットを直接自宅に送付することにより、がん検診の重要性を理解していただくとともに、自宅に居ながら大腸がん検査を実施できる体制を構築する。 | 96,400 | 保健医療課 222-3411 |
| 妊婦健康診査の拡充 | 妊婦健康診査の標準的な検査項目として、クラミジア抗原検査を追加し、検査費用を公費負担する。 | 43,500 | 保健医療課 222-3411 |
| 不妊治療助成制度の拡充 | 不妊治療のうち、医療保険が適用されない特定不妊治療（体外受精、顕微授精）の助成について、助成回数等の拡充（「1年度あたり2回、通算5年まで」から「1年度あたり3回、通算10回を超えない」に変更）及び所得制限の緩和を実施する。 | 120,000 | 保健医療課 222-3411 |
| 看護師確保対策事業 | 平成22年度に設置した「京都市看護師確保検討委員会」の審議を受けて、現職看護師の資質向上と定着確保を中心とした策を実施する。 | 2,000 | 医務審査課 213-2991 |
| がん治療施設への融資事業 | がん治療施設を建設する医療機関に対して、本市の地域医療、特にがん治療体制の整備に寄与すると認められるため、申請に応じ、（財）地域総合整備財団を通じて、地域総合整備資金（ふるさと融資）の融資を行う。 | 600,000 | 医務審査課 213-2991 |
| 保健福祉局 合計 | | 2,735,300 | |

平成23年度予算 未来まちづくり推進枠予算要求一覧

(単位：千円)

| 都市計画局 予算要求の内容 | | | |
|---------------------------|--|--------|---|
| 事業名 | 事業概要 | 要求額 | 所管課 電話番号 |
| 歴史都市京都における密集市街地等に関する対策の推進 | 歴史都市京都は、京町家等の歴史的建造物、袋路等の細街路により特徴づけられているが、一方で、防災・住環境等の面で多くの課題を抱えている。こうしたことから、歴史都市京都独自の災害に強い安心・安全のまちづくりに向けた総合的かつ戦略的な取組方針と施策・事業を打ち出すための検討を行う。市民と行政の共汗のもと、組織横断的にこれを実施し、京都が培ってきた独自のすまいの文化を継承しながら、市民のいのちと暮らしを守り、安心・安全を実感できるまちの形成を目指す。 | 41,600 | 都市企画部 都市づくり推進課 222-3503 建築指導部 建築指導課 222-3620 |
| らくなん進都における公共交通利用環境向上事業 | らくなん進都内への企業立地をはじめとする諸機能の集積や都市活動の活性化を誘導するためには、公共交通網及びそれを補完する末端交通システムの整備が課題となっている。 現在、京都大学により京都駅とらくなん進都間でバスの実証運行が実施されている。実証運行後、当該バスを運行している民間事業者が本格運行されることが見込まれることから、新路線の定着と地区内全体の公共交通の利用環境の向上に資する取組を利用者の意向を把握しながら、住民、企業、大学とともに検討、実施し、持続可能な運営の下、利便性の高い公共交通体系の整備推進を目指す。 | 7,500 | 都市企画部 都市づくり推進課 222-3503 |
| 都市計画施設等の見直し | 都市の安全性の観点から都市計画道路のあり方を再検討するとともに、都市計画公園や土地区画整理事業について、都市の健全な発展と秩序ある整備を図る観点に加え、安心・安全な都市生活を確保する観点から計画の必要性を再検討する。 平成23年度は、都市計画決定されている都市防災施設等の現況調査を実施する。 | 6,400 | 都市企画部 都市計画課 222-3505 |
| 景観形成推進事業 | 良好な景観を形成するためには、市民をはじめとするあらゆる主体が参加、協力、協働し、主体性をもって、地域の特性に応じた景観づくりに取り組む必要があることから、本市の景観政策の実施状況や評価などをまとめる「(仮称)京都市景観白書」を発行し、「(仮称)京都市景観市民会議」を開催するとともに、市民主体の景観づくりで中心的な役割を担う「美観メイクアーティスト」の育成や、地域の将来像を共有するシミュレーションシステムを活用し、地域住民の景観への意識を高め、多様なひとびとの地域への想いや絆を活かした景観づくりの取組を推進していく。 | 5,510 | 都市景観部 景観政策課 222-3397 |
| 三山森林景観保全・再生ガイドラインの運用 | 「三山森林景観保全・再生ガイドライン」策定のための各種基礎データ(場所ごとの斜面方位や表層地質、地形の凹凸など)やガイドラインの各技術指針の内容を地理情報システム化し、森林景観の保全再生活動に取り組んでいる団体や寺社仏閣・大学を始めとする私有林の所有者、国有林を管理する関係機関等に対して、迅速かつ的確に提供することにより、早期に三山のあるべき姿への整備誘導を図るとともに、本市買入地において、周辺所有者とともに、整備誘導のための先導的な森林景観づくりを実施する。 | 30,630 | 都市景観部 風致保全課 222-3475 |
| 「歩くまち・京都」総合交通戦略の推進 | 平成22年1月に策定した「歩くまち・京都」総合交通戦略は、既存の公共交通の利便性向上、歩行者優先のまちづくり、歩いて楽しい暮らしを大切にするライフスタイルへの転換の3つを柱に、脱「クルマ中心」社会のモデル都市の形成を目指し、人と公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現に向けて、88の実施プロジェクトを掲げている。 平成23年度は、学識経験者、関係団体、国、府などで構成し、戦略を総合的に点検し、必要に応じて、充実や見直しの提言を行う「歩くまち・京都」推進会議と、実施プロジェクトを具体的に推進するための3つの推進マネジメント会議を運営するほか、戦略の進捗を確認し、効果を検証するための調査・分析を行う。 | 4,800 | 歩くまち 京都推進室 222-3483 |

| 都市計画局予算要求の内容 | | | |
|--------------------------------|--|--------|---------------------------|
| 事業名 | 事業概要 | 要求額 | 所管課 電話番号 |
| 「スローライフ京都」大作戦（モビリティ・マネジメントの推進） | <p>「歩くまち・京都」総合交通戦略では、3つの柱の一つとして、歩いて楽しい暮らしを大切にするライフスタイルへの転換を掲げ、便利な公共交通の情報提供やアンケート等を通じて市民や観光客等に公共交通の優位性を理解していただき、実際の交通行動を自ら変革していただくことにつなげる「スローライフ京都」大作戦（モビリティ・マネジメントの推進）を、平成22年度から年次計画を立てて強力に推進している。</p> <p>2年目である平成23年度は、全国で初めて、大都市の全ての市民、観光客等に向けた大規模なモビリティ・マネジメントを体系的に実施し、歩く暮らし（ライフスタイル）を大切にするスローライフへの転換を促すため、「歩くまち・京都」憲章の普及・啓発、全市民を対象としたモビリティ・マネジメント、広域的に公共交通利用を促すモビリティ・マネジメント、地域住民や大学、企業等と連携した参加型モビリティ・マネジメント、自動車運転免許モビリティ・マネジメント、宿泊観光モビリティ・マネジメントを実施する。</p> | 37,500 | 歩くまち 京都推進室 222-3483 |
| 「歩くまち・京都」公共交通ネットワークの連携強化 | <p>「歩くまち・京都」総合交通戦略では、3つの柱の一つとして、既存の公共交通の利便性向上を掲げ、交通事業者が連携して積極的に取り組むこととしている。</p> <p>洛西地域では、バス事業者4社、鉄道事業者2社が営業していることから、市内の他の地域における交通事業者間の連携による取組のモデルとするため、先行実施プロジェクトとして「洛西地域におけるバス・鉄道の利便性向上」を実施しており、引き続き「洛西地域バスお徳クーポン」の発行など新たな利便性向上に取り組んでいく。</p> <p>また、同じく戦略の先行実施プロジェクトとして、鉄道事業者7社、バス事業者8社及び京都市が連携して、1枚で乗り降り自由な企画乗車券「京都フリーバス」を創設した。</p> <p>平成23年度はフリーバス利用の増加・定着に向けて、発売箇所や利用範囲、特典内容の拡充等、更なる内容の充実を図る。</p> | 4,890 | 歩くまち 京都推進室 222-3483 |
| 交通施設のバリアフリー化の推進 | <p>高齢者や障害のある方をはじめ、誰もが公共交通を利用して円滑に移動できるユニバーサル社会を実現するため、「交通基本法（仮称）」の制定の動向を注視しながら、段差解消が図られていない鉄道駅等の現状を再調査し、「京都市交通バリアフリー全体構想」を改定する。</p> | 13,200 | 歩くまち 京都推進室 222-3483 |
| 「歩いて楽しいまちなか戦略」の推進 | <p>「歩くまち・京都」総合交通戦略では、3つの柱の一つとして、歩行者優先のまちづくりを掲げ、都心主要道路における歩行空間の拡大と充実、交通安全性の向上を図ることとしている。</p> <p>京都の活力と魅力が凝縮した歴史的都心地区（四条通、河原町通、御池通、烏丸通に囲まれた地区）を中心とする「まちなか」において、安心・安全で快適な歩行空間の確保や賑わいの創出など、人と公共交通優先の「歩いて楽しいまちなか戦略」を推進している。</p> <p>平成23年度は、四条通歩道拡幅の詳細設計を行うとともに、「まちなか」の交通まちづくりを推進する上で課題となる、荷捌き、タクシー等に係る対策について、会議を開催し、課題解決を図る。また、地域住民が主体となったワークショップにより、細街路を通過する自動車交通の抑制やスピードの低減策を検討する取組の面的拡大を図る。</p> | 35,800 | 歩くまち 京都推進室 222-3483 |
| 「歩いて楽しい東大路」歩行空間創出事業 | <p>「歩くまち・京都」総合交通戦略では、3つの柱の一つとして、歩行者優先のまちづくりを掲げ、都心主要道路における歩行空間の拡大と充実、交通安全性の向上を図ることとしている。</p> <p>「歩いて楽しい東大路」創出計画（仮称）に基づき、東大路通の歩道拡幅に向けた測量、予備設計を行う。</p> <p>また、歩道拡幅に伴う道路管理者、交通管理者等との協議に必要な調査や周辺道路の交通影響評価を把握するための調査を実施するとともに、関係行政機関や地元住民と引き続き、課題解決に向けた対策の協議検討を進める。</p> | 44,600 | 歩くまち 京都推進室 222-3483 |
| 京都駅南口駅前広場の整備 | <p>本市最大のターミナル駅である京都駅の南口駅前広場を、交通結節機能の向上や、安全で快適な歩行空間の創出等により、「歩くまち・京都」の玄関口にふさわしい駅前広場とする「京都駅南口駅前広場整備計画」に基づき、整備に向けた予備設計、測量を実施するとともに、整備後の駅前広場の適正利用に係るマネジメント組織の構築に向けた協議を行う。</p> | 26,500 | 歩くまち 京都推進室 222-3483 |

(単位：千円)

| 都 市 計 画 局 予 算 要 求 の 内 容 | | | |
|-------------------------|--|---------|--------------------------------|
| 事 業 名 | 事 業 概 要 | 要 求 額 | 所 管 課 電 話 番 号 |
| 地域連携型空き家流通促進事業 | 空き家の流通を促進するとともに、空き家の流通により地域が活性化することを目指し、所有者や入居希望者が安心して空き家を活用できる環境を整備するため、地元組織と不動産事業者等が連携して空き家所有者と入居希望者をつなぐ仕組みづくりを行う。平成22年度は都心2地区において仕組みの検討を行い、平成23年度は平成22年度の検討結果の検証、普及啓発及び新たに郊外1地区において事業を行う。 | 3,000 | 住宅室 住宅政策課 222 - 3666 |
| 平成の京町家普及・促進事業 | 伝統的な京町家の知恵と現代の技術を融合した京都型の環境配慮住宅である「平成の京町家」を広く普及させるため、「平成の京町家(一般型)」に対して、その設計費の一部を補助する。 | 4,000 | 住宅室 住宅政策課 222 - 3666 |
| 市営住宅ストック総合活用事業 | 平成23年度からスタートする新たな市営住宅ストック総合活用計画(平成22年度中策定予定)では、既存市営住宅の長期活用を図ることを基本とし、建て替えは老朽化等の著しい住棟に最小限に限定し、これまで以上に計画的な維持管理やバリアフリー化及び耐震改修等の改善を図ることを主眼においている。23年度においては、次の事業を実施する。 山科3棟東棟トータルリモデル事業 山科市営住宅で実施してきた内装や設備等住戸内部の改善や耐震改修等を行う「トータルリモデル事業(全面的改善事業)」について、事業完了に向けて、3棟東棟を整備する。 市営住宅団地再生事業 鈴塚市営住宅において住棟の廃止及び集約等を含めた団地再生に向けた基本設計等を行う。 市営住宅耐震改修事業 耐震性能を満たさない市営住宅について改修工事に向けた取組等を行い、市民の皆様がより安心・安全に住まうことができる持続可能で良質な住まいを供給していく。なお、事業実施に当たっては、バリアフリー化等の改修も同時に行うなど、効率的効果的な進ちょくを図る。 | 200,263 | 住宅室 すまいまちづくり課 222 - 3635 |
| 住環境整備事業 (崇仁地区) | 「京都市同和行政終結後の行政の在り方総点検委員会」の答申を受けて設置した「京都市崇仁地区将来ビジョン検討委員会」からの報告(平成22年7月)に基づき、崇仁地区の将来ビジョンに向け、平成23年度は次の事業を実施する。 住宅地区改良事業と土地区画整理事業との合併施行 住宅地区改良事業の早期完了を目指し、事業に必要な土地の取得と集約を行う。 改良住宅の建設 従前居住者のための改良住宅建設に向けた基本設計等を行う。 | 31,043 | 住宅室 すまいまちづくり課 222 - 3635 |
| 都 市 計 画 局 合 計 | | 497,236 | |

平成23年度予算 未来まちづくり推進枠予算要求一覧

(単位：千円)

| 建設局 予算要求の内容 | | | |
|--------------------------------|---|---------|----------------------------------|
| 事業名 | 事業概要 | 要求額 | 所管課 電話番号 |
| 石畳舗装維持補修 | 風情を感じさせる趣のある石畳舗装が、車両通行等の影響から著しく損傷しており、通行に危険があるとともに、点在する補修跡が著しく景観を損ねていることから、これらの石畳舗装を修繕し、通行者の安心・安全を確保するとともに、京都らしい景観を保全し、観光都市京都の発展に寄与するものである。 | 93,000 | 土木管理部 調整管理課 222-3568 |
| 京都御苑周辺道路の歩行空間改善事業 | 今出川通、烏丸通、丸太町通の京都御苑側の歩道については、歩行者と自転車との接触事故や御苑側水路への転落事故の危険性が高く、特に烏丸今出川のバス停では、バス待ちの人と通行する人が輻輳しており、改善が求められている。 このような状況を改善するため、転落防止柵の設置やバス停、横断歩道部におけるデッキ等の設置を行うものである。 また、使用部材については、当該区間が京都御苑に隣接するため、環境・景観に配慮した、間伐材を利用する。 | 3,500 | 土木管理部 調整管理課 222-3568 |
| LED道路照明灯の試験設置 | 本市では、水銀灯や蛍光灯など約80,000基の道路照明灯を管理しており、道路照明灯の維持管理に年間約8億円の経費が掛かっており、その中で、低炭素社会の実現や維持管理経費の削減のため、水銀灯については平成20年度から新設・更新時に省エネ・低炭素化が見込めるセラミックメタルハライド灯を導入している。 これに続き、更なる低炭素社会の実現や経費削減を目指し、蛍光灯においてもLED照明灯の導入に向け、試験設置を実施する。 また、LED照明については、蛍光灯のような統一的な規格が存在せず、各メーカーによって基本性能や形状等に差異があるため、試験施行の際には、各メーカーから技術提案を受け、LED照明の性能確認や明るさ、見やすさ等の機能的な検証を行うとともに、本格導入する際の予定価格の設定やライフサイクルコスト等の経費面も含め検証を行う。 | 1,200 | 土木管理部 調整管理課 222-3568 |
| 京都市公共物GISシステムデータ移行 (職員提案予算) | 京都市公共物GISシステムに京北分室管内システムデータが移行されておらず、京都市全域の情報がイントラネットパソコンにおいて閲覧出来ない状況である。 また、道路明示課及び土木事務所等で、市民の方が閲覧できるタッチパネルにおいても、京北分室管内のデータが閲覧出来ない状態であり、市民サービス及び作業効率の低下を招いている。 上記を改善するため、京北分室管内システムデータを京都市公共物GISシステムへ移行し、京都市全域の情報がイントラネットパソコン及びタッチパネルから閲覧出来るようにすることで、市民サービス及び作業効率の向上を図る。 | 20,000 | 土木管理部 調整管理課 222-3568 |
| 認定路線網図提供システムの構築 (職員提案予算) | 認定道路であるか否かについての情報は、重要な取引きの際に使用されるケースもあるため、電話による問い合わせには原則応じておらず、道路明示課又は各土木事務所の窓口での調査を個々にお願ひしており、市民の方に負担をかけている状況である。 上記の課題を改善するため、認定路線網図提供システムを構築し、ホームページ上に公開することにより、市民の方の利便性の向上を図る。 | 4,500 | 土木管理部 道路明示課 222-3566 |
| 放置自転車対策の強化及び充実 | 【撤去自転車保管所の整備及び日・祝日の開所】 府市協調の取組の一環として、京都府から無償で提供を受けた「くいな橋保管所」を拡張整備することにより、撤去自転車の保管所機能の増強を図る。 また、これまで、撤去自転車の返還については、各保管所において、月曜日から土曜日に実施してきたが、平成23年度からは、日・祝日も開所し返還業務を行うことにより、更なる市民サービスと返還率の向上を図る。 【撤去警告看板リニューアル】 撤去警告看板に対しては、これまでから、色合いやデザインなど景観へ配慮したものにしたいという要望が寄せられていた。 一方、京都市未来まちづくり100人委員会の1部会である「京都景観フォーラム」では、景観に配慮した放置自転車の警告看板のデザインについて、議論されており、この度、公募を行い、フォーラムとしての意見をとりまとめたうえで、本市に対して提案がなされたため、この提案を基本として、撤去警告看板のリニューアルを実施するものである。 景観行政を重要な施策として位置づけている本市において、観光看板のみならず、規制看板である撤去警告看板についても景観への配慮といった観点を取り入れることにより、美しい街並みを保持するとともに、今後の自転車施策の更なる発展につなげていきたい。 | 113,500 | 土木管理部 自転車政策課 222-3565 |
| 無電柱化事業 | 愛宕山の頂にある愛宕神社の門前町として賑わった昔の町並みを残し、化野念仏寺や五山の送り火の一つである鳥居形を有する嵯峨鳥居本伝統的建造物群保存地区を東西に横断する京都日吉美山線(愛宕街道)の無電柱化を始め、京都市内屈指の観光地である嵯峨嵐山の渡月橋南詰めに位置する宇多野嵐山山田線(渡月橋南詰)、表千家不審庵、裏千家今日庵を有し、日本の茶道文化の中心ともいうべき、上京小川歴史的景観保全修景地区に含まれる油小路通(小川通)など、京都市内の歴史的、自然的景観上重要な各路線において、電線共同溝の整備により、景観の保全や快適な通行の妨げになっている電柱や架空電線類を取り除き、無電柱化事業を推進する。 | 28,000 | 道路建設部 道路環境 整備課 222-3570 |

(単位：千円)

| 建設局 予算要求の内容 | | | |
|------------------------------|--|-----------|-----------------------------|
| 事業名 | 事業概要 | 要求額 | 所管課 電話番号 |
| 梅小路公園の再整備 | 梅小路公園は、平成7年に開園した緑豊かなオープンスペースとして市民に親しまれている公園である。民間事業者から平成20年には水族館、平成21年には鉄道博物館の公園施設新設の提案をそれぞれ受け、京都市では、平成21年6月に「梅小路公園の再整備の方向性(案)」として、3つの基本理念(「地域活性化の核」となる賑わい・交流の場の創出、多様な「いのちの輝き・つながり」を学ぶ都心のオアシスの充実、京都市を代表する「文化」を継承・発展する拠点の創出)と6つの基本方針を定めた。 平成23年度は、再整備の一環として、防災機能の向上のため、防災トイレ(マンホールトイレ)の整備及び放送施設の充実を図る。 | 39,716 | 水と緑環境部 緑政課 222-3589 |
| 緑視環境向上プロジェクト ～新・緑の基本計画推進～ | 平成22年3月に策定した緑の基本計画を推進するため、平成23年度については、「緑視環境の向上」を重点テーマに下記事業を実施する。 桜景観創造プロジェクト 紅葉街路樹二段階剪定 都市緑化事業(街路樹整備～道路の森づくり～) 公共施設のグリーンベルト作戦 公園緑地の植栽充実プロジェクト まちなかスポットガーデン事業 | 128,310 | 水と緑環境部 緑政課 222-3589 |
| 岡崎地域活性化推進事業 【公園区域拡張】 | 平成22年度策定予定の岡崎地域活性化ビジョンに基づき、琵琶湖疏水慶流橋以西の区域を拡張するための測量を行い、岡崎公園の修景機能を充実し、新たな緑の基本計画に掲げた「拠点となる緑」としての役割を充実させることを目指す。 | 7,600 | 水と緑環境部 緑政課 222-3589 |
| 新十条相深公園整備 | 本市では「京都市緑の基本計画」に目標として掲げる1人当たり公園面積10㎡を目指し、様々な公園の整備に取り組んでいる。 その中で、街区公園は、市民にとってもっとも身近な公園であり、地域コミュニティの核となる重要な施設である。そのため、本市では、公園が不足し、地元からの設置要望も強い地域を中心に公園の新設整備に取り組んでいる。 「京都市緑の基本計画」に目標として掲げる1人当たり公園面積10㎡を目指し、23年度は新十条相深公園の新設整備に取り組む。 | 432,029 | 水と緑環境部 緑政課 222-3589 |
| 淀城跡公園拡張整備 | 昭和43年に開園した淀城跡公園は、淀地域のほぼ中央に位置し、京阪本線の立体交差化に伴う淀駅の移転や駅周辺整備等の関連事業が進められる中で、地域住民からは公園の再整備が地域活性化の一役を担うものとして期待され、平成13年1月に「淀城跡公園再整備基本構想及び基本計画」を策定し、都市計画決定を行った。 しかしながら、直後の本市の財政非常事態宣言を受け、事実上、事業が休止状態にある。 淀駅周辺整備事業が平成25年度に完了すること、また、用地買収予定面積の9割に相当する地権者の方々から買収要望の声が寄せられていることから、地元での公園再整備への期待が高まってきている。ただし、当初の計画規模では多額の事業費を要するため、事業化に当たっては、事業費を圧縮する必要がある。 このため、23年度に基本計画の見直しを行う。 | 3,000 | 水と緑環境部 緑政課 222-3589 |
| 宝が池公園スポーツ広場整備 | 当広場は、昭和62年に完成した球技場をはじめ、テニスコートやフットサル場を備えたスポーツ広場として、多くの市民に利用されている。 開園当初には、公園の中を都市計画道路が横断する都市計画決定がなされており、そのための用地先行買収が進んでいたが、平成15年3月に道路のルート変更がなされ、道路は公園内を横断することなく、公園の外側に整備された。 これにより、当初の道路ルート用地が未整備のまま、公園内を分断しており、公園としての一体利用ができない状態になっている。 そのため、球技場の南側にある広場の拡張、周回園路の整備等を行い、公園の一体利用を図る。 23年度は、用地の買戻し及び測量・実施設計を行う。 | 282,842 | 水と緑環境部 緑政課 222-3589 |
| 高瀬川再生プロジェクト | 現在、石積護岸のいたるところで損傷や老朽化に伴う漏水が発生しており、夏季においては干上がり悪臭を発生させる等の問題が生じている。 そこで、漏水防止及び護岸の崩壊など災害の発生を予防するため、目視調査により著しい損傷等を確認することができる取水口～五条までの間を、第一期補修工事として実施する。 | 15,000 | 水と緑環境部 河川整備課 222-3591 |
| 建設局 合計 | | 1,172,197 | |

平成23年度予算 未来まちづくり推進枠予算要求一覧

(単位：千円)

| 区役所予算要求の内容 | | | |
|--------------------------------------|--|--------|--|
| 事業名 | 事業概要 | 要求額 | 所管課 電話番号 |
| 北区猿害対策事業 | サル生態調査等に取り組む大学や団体、有識者等との連携を図り、北区における野猿の行動エリア、行動パターンや効果的な追い払い対策を模索するとともに北区に出没する野猿に関する対策ネットワークを構築し、出没情報、防除対策、追い払い方法等を地域住民に適宜発信するしくみづくりを進める。 また、野猿の行動エリア内にある老健施設、保育園、小学校等、高齢者や子どもをはじめとするいわゆる弱者を抱える施設における安全対策を図り、人的被害を未然に防止する。 | 3,200 | 北区役所 まちづくり推進課 432-1208 |
| 洛中洛外図の世界が甦る～観光案内ボランティア(上京の歩く語り部)の育成～ | (財)京都高度技術研究所と共同でシステム開発を行い、携帯端末等からアクセスすることで洛中洛外図の世界など区内の史蹟等の情報を画像と文章で発信するとともに、上記システムを活用した「まち歩きツアー」を実施する。合わせて観光ボランティアの育成を図る。 | 16,000 | 上京区役所 総務課 441-5029 |
| 新庁舎を活用した左京賑わい創出事業 | 平成23年度に開庁する新左京区総合庁舎が区民交流の拠点であることをPRし、区民に積極的に活用していただくために、左京賑わい創出事業を実施する。 実施に当たっては、区民が主体となった事業となるよう、区民・大学生・留学生等から構成される左京賑わいサポーターズ(仮称)を立ち上げ、事業の企画、広報、実施への支援等を行っていただく。 | 1,100 | 左京区役所 総務課 771-4235 まちづくり推進課 771-4246 |
| 静原地域のまちづくり | 歴史と文化に彩られた魅力ある地域であるが、静原地域は、一方で少子高齢化などの課題も抱えている。 この地域が「自治・自立」による「魅力を生かしたまちづくり」に取り組んでいただく「きっかけづくり」ため、話し合いの中から有効な事業を展開し、地域主導のまちづくり活動を試行実施し、継続可能で地域のPRに有効な事業を検討する。 | 1,700 | 左京区役所 まちづくり推進課 771-4246 |
| 高齢者にやさしい店事業 | 認知症の人とその家族を地域でも支えるために、「認知症サポーター養成講座」を開催し「高齢者にやさしい店」登録店を更に増やす。また、登録店一覧の冊子とホームページの更新を行うとともに、登録店に対しフォローアップも兼ねたアンケートを実施する。 | 1,000 | 左京区役所 支援課 771-4289 |
| 中京区まちづくり次世代推進者共育支援制度の創設 | 若手住民を対象に、まちづくりの事例研究や主体的な地域まちづくり活動の実践手法等を学ぶプログラムへの参加を募り、次世代のまちづくり活動の担い手を育成する。 23年度では、引き続き養成講座を実施し、初年度(21年度)から3箇年で10名以上の受講者「仕掛け人」を養成するとともに、「仕掛け人」が企画した活動やイベント等に対し、区民ニーズが高いと認められるものを区支援策の中で優先的に支援する。 | 1,000 | 中京区役所 まちづくり推進課 812-2426 |
| 人口増加に対応した地域活動の支援事業 | 中京区内では、近年のマンション増加により新たに区民となる方が増加している中で、住民間の交流・融合が必ずしも円滑に進んでおらず、地域活動に支障を及ぼしているという状況が見受けられる。 このため、平成20年度から、自治会等の関係者が地域住民への対応について学区を越えて情報交換できる場として「地域とマンションの交流に関する情報交換会」を開催してきた。 平成23年度は、パイロット地域における具体的な事業のプラン(平成22年度中に策定)に基づく「地域とマンションの交流事業」を支援する。 | 500 | 中京区役所 総務課 812-2421 |
| 「東山こどもまちづくりリスト」事業 | 少子高齢化が著しく、まちづくりの担い手不足や地域コミュニティが希薄化しつつあることが課題となっていることを踏まえ、子どもたちが『仮想のまち』体験イベントとその準備作業を通じ、まちづくりについて興味を深め、未来のまちづくりの担い手としての意識を育てようとする「東山こどもまちづくりリスト」事業を実施する。 | 1,700 | 東山区役所 まちづくり推進課 561-9114 |
| ～皆で灯そう「陶灯路」!～ 「陶灯路」魅力発信プロジェクトの実施 | 山科の伝統産業である清水焼の器に水を張り、中に切り子硝子のグラスを置き、その中にカップろうそくを灯し、その器を並べていくイベント「陶灯路」が注目されている。 そこで、「陶灯路」を自分で制作し、家庭で楽しむほか、「京都・やまの観光ウィーク」などの観光イベントにおいて飾り、見て楽しむとともに、「陶灯路」の存在を区内外にPRし、観光客の増加や伝統工芸の発展、更には市営地下鉄の増客を図る。 | 1,000 | 山科区役所 総務課 592-3066 |
| 山科区獣害対策チームの運営 | 近年、イノシシやシカ等の出没及び被害が増加し、懸念されていた人的被害も相次いで発生していることを踏まえ、従来の猿害対策チームを獣害対策チームに改組し、次の事業を実施する。 講師を招いて、サルやイノシシ、シカ等についての知識を深め、防除の在り方を学ぶ。 従来の小型の檻に加え、中型及び大型檻を設置する。 繰り返し生活被害を受けている地域又は住宅をモデル地区とし、フェンスやネットを貸し出す。 | 2,500 | 山科区役所 まちづくり推進課 592-3088 |

(単位：千円)

| 区役所予算要求の内容 | | | |
|--------------------------------------|---|-------|---|
| 事業名 | 事業概要 | 要求額 | 所管課 電話番号 |
| 下京歩歩(ぼっぼ)塾 | IT歩数計によるデータを活用し、大学研究室による科学的根拠に基づいた運動処方、個々人に応じたアドバイスを盛り込んだニュースレターの発行、ウォーキング効果の分析等、効果的な手法を取り入れながらウォーキングを通じて、下京区全体の健康なまちづくりを目指した取組を進める。 | 1,100 | 下京区役所 総務課 371-7163 |
| 南区民健康づくり推進事業 | 肥満やメタボリックシンドローム、喫煙といった生活習慣病の危険因子を持つ人の割合が高いことから、区民ボランティア等の協力を得て、「運動」と「食生活」の両面から区民の健康づくりの支援に取り組む。 | 700 | 南区役所 健康づくり推進課 681-3559 |
| 南区認知症サポートネットワーク形成事業 | 一人暮らしの高齢者や認知症の高齢者を抱える世帯などが、住み慣れた地域で健やかな生活を送るため、区内の関係機関が連携し、介護保険サービスやその他の保健・福祉・医療サービス等を一体化して提供する南区独自の包括支援ネットワークの構築に向けた取組を進める。 | 1,000 | 南区役所 福祉介護課 681-3296 |
| 地域力(みなみ力)パワーアップ事業 | 次期南区基本計画の基盤となる“地域力(みなみ力)”を高めるため、地元と連携し、各学区情報を区ホームページで紹介するなど、町内会への加入促進を支援する取組を通じて、地域コミュニティの活性化を目指す。 | 1,000 | 南区役所 まちづくり推進課 681-3417 |
| 南区アートモニュメント整備事業 | 現代アートなどをテーマとした情報発信を通じて、南区における芸術文化の拠点づくりを進め、新たな活力の創出を図る。 具体的には、「多様な文化が融合するまち・南区」を象徴する力強いアートモニュメント(観光案内表示機能も付与)を公募し、京都駅南口駅前広場等への設置を目指し、取組を進める。 | 500 | 南区役所 まちづくり推進課 681-3417 |
| 南区企業の“知”活用促進事業 | 幅広い業種の企業が集積する南区の特性を活かし、企業に蓄積された“知”のうち、区民の生活に身近なものを紹介する生涯学習講座、工場見学会などを通じて、企業と区民が交流を深める“場づくり”を進める。 | 300 | 南区役所 まちづくり推進課 681-3417 |
| 右京ファンクラブ創出事業 | 右京区内外に向け、HPを利用して地域情報や観光情報等の情報発信を行い、右京区のファンを増やすことにより、右京区のまちづくりの気運を高め、活動の輪を広げる。 | 600 | 右京区役所 総務課 861-1784 |
| ぐるりんこ京北 | レンタル自転車等を使い、京北地域の豊かな自然や優れた景観を訪れることで地域や自転車の魅力を知ってもらうとともに、地元NPO団体等とサイクリングルートづくりのワークショップ等に取り組み、サイクルマップを作成する。 | 1,500 | 右京区役所 総務課 861-1784 |
| てくてく太秦 | 区民自らが地域の魅力を再発見し、住まう人だからこそ知る魅力のスポットを引き出すなど、楽しく安心して歩けるルートを設定するとともに、地下鉄東西線や京福電鉄といった鉄道網を都市の装置として有効活用し、太秦天神川の拠点性を一層高め、地域の活性化と歩くまちの推進につなげる。 | 1,000 | 右京区役所 まちづくり推進課 861-1264 |
| 西京・地域“広報力”サポート事業 ～かわら版からホームページまで～ | 自治会活動をはじめとする地域活動の広報を充実させ、自治会への加入促進に結び付けるなど、地域コミュニティの更なる活性化を図ることを目的に、自治会の広報担当者等を対象として、魅力的な広報紙づくりや、ICT(情報通信技術)を活用した最新の情報発信手法などについて学ぶ講座を開催する。また、アドバイザーをモデル地域に派遣し、情報発信力、「広報力」の充実・強化を支援する。 | 1,800 | 西京区役所 総務課 381-7158 |
| 「伏見学連続講座」(仮称)の開講 | 伏見区内や近隣の大学等が実施する伏見の歴史や自然、文化、産業などに関する公開講座や、民間団体・事業者等が実施する伏見をフィールドにした体験学習や体験ツアーを組み合わせ、区民がより深く、幅広く伏見の魅力を学ぶ場を提供するとともに、「伏見学連続講座」(仮称)としてパッケージ化して区の自主広報や各団体の広報等で幅広く宣伝することで、伏見をPRする。 | 2,700 | 伏見区役所総務課(611-1295)、まちづくり推進課(611-1144)深草支所総務課(642-3125)、まちづくり推進課(642-3203)醍醐支所総務課(571-6105)、まちづくり推進課(571-6135) |

(単位：千円)

| 区役所予算要求の内容 | | | |
|-------------------------------|--|--------|---|
| 事業名 | 事業概要 | 要求額 | 所管課 電話番号 |
| 深草管内商店街地域活性化事業 | 商店街が地域を支え、地域が商店街を支える関係を築き、商店街が地域に親しまれ、人が集い、少子化や長寿化社会に対応し、人のつながりを感じるまち、深草地域が住みやすく、住み続けたいまちを目指し、「商店街の活性化と地域の活性化を融合した深草のまちづくり」に取り組む。 | 7,000 | 深草支所 まちづくり推進課 642-3203 |
| 大岩街道周辺地域の良好な環境づくりの推進 | 大岩街道周辺地域の抜本的な環境改善に向けて、本市が平成22年3月に策定した「大岩街道周辺地域の良好な環境づくりに向けたまちづくりの方針」に基づき、地区計画制度の活用による地域主体のまちづくりを進めるため、まちづくりの専門家（コンサルタント）を地域に派遣するなど地域の自主的なまちづくりを誘導・支援する取組を行う。 | 5,500 | 深草支所 大岩街道周辺地域環境整備課 642-3175 |
| 醍醐観光マップ（仮称）を活用した観光案内板の整備計画の策定 | 平成22年度区政策提案予算事業の「醍醐観光マップ（仮称）」を活用し、観光客にわかりやすい観光案内板を整備するため、検討委員会を立ち上げ、平成24年度以降の案内板設置を目指す。 | 1,500 | 醍醐支所 総務課 571-6105 まちづくり推進課 571-6135 |
| 区役所合計 | | 55,900 | |

平成23年度予算 未来まちづくり推進枠予算要求一覧

(単位：千円)

| 消 防 局 予 算 要 求 の 内 容 | | | |
|--|---|---------|------------------------|
| 事業名 | 事業概要 | 要求額 | 所管課 電話番号 |
| 消防防災通信ネットワークの構築（消防救急無線デジタル化及び消防指令センター更新整備実施設計） | 平成28年5月31日が使用期限と定められている150MHz帯消防救急無線について、計画的にデジタル化整備を実施するため必要な実施設計を行うもの。 一方、平成10年度に運用を開始した消防指令センターは、運用から12年が経過し、システムの更新時期を迎えている。逼迫する本市財政状況の下、上記デジタル化整備と併せて整備を行うことにより、より効率的な整備が可能となることから、必要な実施設計を行うもの。 | 60,000 | 総務部 庶務課 212-6635 |
| 市民防災センター体験施設改修 | 平成11年度に整備した京都市防災センター3階の体験施設について、経年の利用により老朽化が著しいことから、新たに水災害の啓発も兼ねた施設としてリニューアルし、市民への防災の更なる普及啓発を図るもの。 | 80,000 | 総務部 庶務課 212-6635 |
| 救急ワークステーション整備（基本設計） | 京都市立病院敷地内に救急ワークステーションを設置し、市立病院と密接な連携のもと、救急救命士の行う応急処置等の質を確保する、いわゆるメディカルコントロール体制の更なる向上を図る。具体的には、国の基準で定められている救急救命士の再教育に係る病院実習の一部を市立病院で画一的に実施し、救急救命士の処置範囲の拡大や新型インフルエンザなどの新たな災害への対応など、時勢に応じた研修体制を充実させるもの。 なお、平成23年度は、施設建設に先立ち基本設計を実施する。 | 4,000 | 総務部 庶務課 212-6635 |
| 訓練用パッケージ型消火設備の製作（職員提案予算） | 現在、事業所に普及している『パッケージ型消火設備』は、消火薬剤及び放出に使用するガスボンベ等の交換が高価であることなどの理由から、実際の放射を伴う訓練が実施しにくい現状がある。 そこで、『パッケージ型消火設備』と同様の操作方法を体験でき、安価で繰り返し使用できる訓練用パッケージ型消火設備を製作することにより、当該設備が設置されている事業所の訓練指導に活用し、火災発生時の有効な初期消火活動の確保を図る。 | 1,500 | 総務部 庶務課 212-6635 |
| ポータブル電気火災実験器の製作（職員提案予算） | 火災原因の上位に挙げられる『電気火災』については、より効果的な市民への防火広報を行うため、職員が地域の住民に対して、直接実演指導をしているところである。しかしながら、定まった指導ツールがなく、廃材の利用などにより代替している現状であることから、電気火災の主な要因である「短絡」「トラッキング」「グラファイト化」「過電流」などの展示実験が、より安全、かつ、効率的に、そして、市民にわかりやすく実施できるようなツールを製作する。 | 1,000 | 総務部 庶務課 212-6635 |
| 消 防 局 合 計 | | 146,500 | |

平成23年度予算 未来まちづくり推進枠予算要求一覧

(単位：千円)

| 交通局予算要求の内容 | | | |
|-----------------------------|--|--------|--|
| 事業名 | 事業概要 | 要求額 | 所管課 電話番号 |
| 市バス時刻表作成システムの改良 (職員提案予算) | バス停に掲載している時刻表の視認性を向上させるため、市バス時刻表作成システムを改修するとともに、持ち運びに便利なポケットサイズ時刻表の印刷機能も追加することにより、市民や観光客にとって、より一層身近で乗車して頂きやすい環境を提供し、市バスの利用促進につなげていく。 | 2,562 | 自動車部 営業課 863-5117 運輸課 863-5135 |
| スマートフォン用ポケロケの開発 (職員提案予算) | 近年利用者が急増しているスマートフォンに対応した新たなサービスとして、現在1系統のみの表示となっているポケロケシステム(市バス接近情報提供システム)に、複数系統を同時に表示できる機能を追加し、サービス向上を図ることにより、一層乗車して頂きやすい環境を提供し、市バスの利用促進につなげていく。 | 2,100 | 企画総務部 総務課 863-5036 |
| 地下鉄京都駅賑わい創出事業 | 市内随一の交通の要衝である京都駅周辺の一体的な活性化に資するため、一日当たり10万人以上の乗降客に利用されている地下鉄京都駅の大規模な改修を行ってより利便性の高い駅とし、地下街との調和も図りながら、地下鉄駅を拠点とした地下エリアに新たな賑わいのある公共空間を創出する。このため、地下鉄駅のスペースを有効活用して、商業エリアを形成し、現在はやや人通りの少ない北側改札口周辺を中心とした新たな人の流れをつくり、このエリアに相応しい賑わいの面的拡大を図る。また、併せて、同エリアに隣接して車椅子対応型を含む公共トイレを整備するとともに、案内表示をより分かり易く全面刷新するなど、全ての人にとって利用し易い駅となるよう施設の改善を図る。これにより、地下鉄をはじめとする公共交通機関の旅客増はもとより、雇用の創出にも寄与し、京都駅周辺の活性化を更に加速させるものである。 | 68,000 | 企画総務部 企画課 863-5068 |
| 交通局 合計 | | 72,662 | |

平成23年度予算 未来まちづくり推進枠予算要求一覧

(単位：千円)

| 教育委員会 予算要求の内容 | | | |
|-------------------------------------|--|-----------|----------------------------|
| 事業名 | 事業概要 | 要求額 | 所管課 電話番号 |
| 東山区南部地域統合 小中一貫校整備 | 東山区南部地域にある4小中学校(一橋小,月輪小,今熊野小,月輪中)を統合し,現一橋小学校・月輪中学校敷地に,二拠点一体活用型小中一貫校を開校する予定である。月輪中学校は継続して使用するため一部改修し,一橋小学校については現校舎を解体し,新校舎を建設し,平成26年4月の開校を目指す。 | 532,800 | 総務部 教育環境整備室 222-3791 |
| 小・中・総合支援学 校増収容 | 一部地域の小学校や中学校,総合支援学校における児童生徒数の増加に伴い,校舎増築等を行い,子どもたちの教育環境のより一層の充実を図る。 | 389,700 | 総務部 教育環境整備室 222-3791 |
| 屋内運動場改築事業 | 災害発生時には地域住民等の緊急避難施設として活用されるなど学校のみならず地域にとっても重要な役割を果たす施設である屋内運動場について,文部科学省の定める処分制限期間である45年間を経過しているものを対象として,老朽度等を勘案し,毎年度2校程度改築する。 | 64,800 | 総務部 教育環境整備室 222-3791 |
| 学校エコ改修と環境 教育事業 | 京都議定書誕生の地及び環境モデル都市・京都にふさわしい木の文化を育む京都ならではのエコ改修を実現し,低炭素社会を望む環境思想と京の文化を融合させたモデル事業を朱雀第四小で実施する。 | 441,000 | 総務部 教育環境整備室 222-3791 |
| 省エネに配慮した学 校の長寿命化事業 | 学校施設においても,施設整備や光熱水利用等における省資源・省エネルギー等について,今後より一層の取組が求められている。さらに,学校は環境負荷の低減のみならず,将来にわたって環境を大切に育む心(環境教育)への効果が期待されている。これら両面に配慮した学校施設の整備を推進していくとともに,喫緊の課題である市有建築物の長寿命化に向け,学校施設の最適維持管理を図る。 | 124,100 | 総務部 教育環境整備室 222-3791 |
| 幼稚園空調機設置及 び小・中学校等水冷 式空冷式空調機更新 | 幼稚園においては,統合園を除き,未だ幼児が保育活動を行う場所に空調設備は設置されていないため,日常的な教育活動の場となる遊戯室に空調設備を導入する。さらに,昭和46年~平成9年の間に,国における騒音対策に係る補助制度を活用して導入した小・中学校等の水冷式空冷式空調機の老朽化が進んでいるため,計画的に更新する。 | 626,000 | 総務部 教育環境整備室 222-3791 |
| 子育て親子ふれあい センター(仮称)整 備 | 青少年科学センター内に,親子で科学遊びを通じてふれあいながら,子育て世代の交流を図り,子育ての楽しさを実感できるよう,「子育て親子ふれあいセンター(仮称)」を整備する。 | 30,000 | 総務部 総務課 222-3767 |
| 教育機関(学校を除 く)アセットマネジ メント | 昭和40年代から50年代にかけて集中的に建設され,今後一斉に更新時期を迎えることから大きな財政負担が予想される市有建築物について,計画性をもって適切に維持管理することで,建築物の長寿命化,経済性の向上,社会的要請等(耐震化の推進,地球温暖化対策,少子高齢化社会への対応)への対応を図る。そこで,教育委員会が所管する施設(学校を除く)について,適切な施設の改修等を行う。 | 260,400 | 総務部 総務課 222-3767 |
| 教育委員会 合計 | | 2,468,800 | |